

2021年7月12日



当社千葉事業所に自家消費型太陽光発電設備を導入

トヨーカネツ株式会社(社長：柳川 徹)は、地球温暖化防止に向けた施策として、千葉県木更津市に所在する千葉事業所において、トヨーカネツグループとしては初の自家消費型太陽光発電設備を導入し、2021年7月12日に発電を開始しました。

当社グループは、ESGを重視する経営を推進しており、2019年3月に公表したグループマテリアリティ10課題の最初に「(1)気候変動による事業環境変化への対応」を掲げております。今般の同事業所における自家消費型太陽光発電設備の導入は、同課題にむけた進捗として、再生可能エネルギーの自己創出を進め、温室効果ガス排出量の削減を通じた持続可能な社会の構築への貢献を目指すものです。



本件発電所は同事業所内建物屋根上に設置され、当社の年間消費電力のおよそ7%(2020年度消費実績と比較)に相当する再生可能エネルギーを供給する見込みです。

同設備は自立運転が可能のため、災害時には、事業所の非常用電源として利用でき、また近隣にお住まいの方に携帯電話充電などご利用いただくことも可能です。

また、この太陽光発電設備の導入は、国連SDGsにある「7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「13 気象変動に具体的な対策を」、という地球規模の社会課題解決への貢献に繋がる取組と考えております。



(注) 本件は、政府による「令和2年度二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金(サプライチェーン改革・生産拠点の国内投資も踏まえた脱炭素社会への転換支援事業)」の対象です。

当社グループは、今後とも主要事業所における自家消費型太陽光発電設備の設置を進める等、CO2排出量削減という社会課題に向けた事業活動を進めて参ります。

【お問合せ先】コーポレート本部 経営企画部 CSRグループ
TEL : 03-5857-3333